

**今日のトピック** 世界の「投信マネー」(2018年6月)

**2018年5月は米国株式ファンドへの回帰傾向強まる**

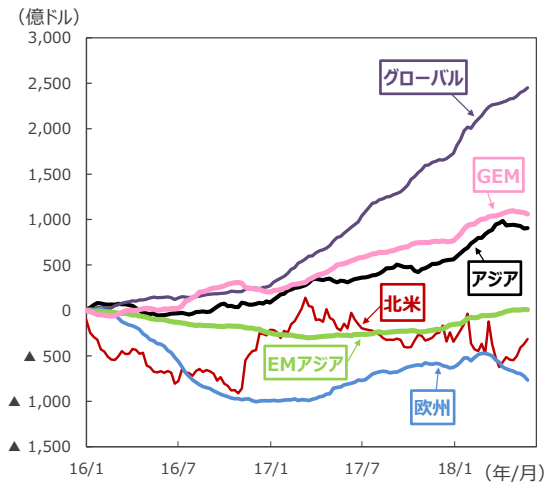
**株式ファンドは「米国」への回帰傾向強める**

- 5月の株式ファンドフローは、株式全体で180億ドルの流入超となりました。内訳は先進国が+218億ドル、新興国が▲38億ドルです。新興国が月次で流出超となるのは、2016年12月以降、17カ月ぶりです。これまでの新興国を中心とした資金の流れから一転して、先進国中心の流れとなりました。
- 先進国の内訳を見ると「北米」が+232億ドル（「米国」が+229億ドル、「カナダ」が+3億ドル）と4カ月ぶりに大幅な流入超となりました。次いで「グローバル」が+119億ドルでしたが、「欧州」が▲98億ドルの流出超に転じ、「アジア(注3)」が▲35億ドルと2カ月連続の流出超となりました。
- 新興国の内訳を見ると、新興国全体に投資する「GEM(注4)」が▲34億ドル（前月+56億ドル）と流出超に転じました。ただ、「EMアジア(注5)」は+3億ドルと前月の+55億ドルより減少しましたが、7カ月連続の流入超となりました。

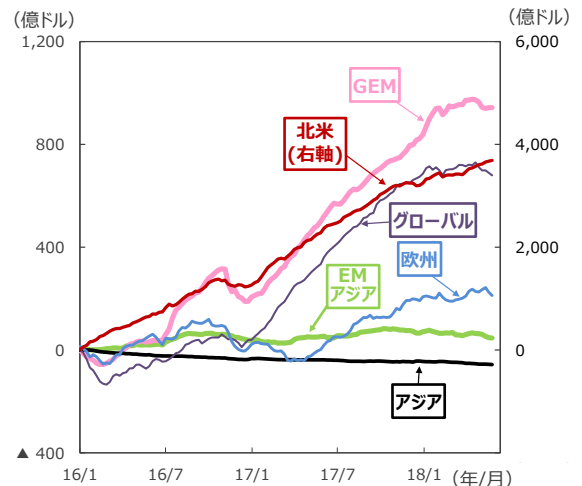
**債券ファンドは新興国が流出超に転じる**

- 債券ファンドは▲4億ドル（前月+222億ドル）と、小幅ながら3カ月ぶりの流出超となりました。内訳は先進国が+36億ドル、新興国が▲40億ドルでした。先進国は、「北米」が+82億ドル（前月+197億ドル）と流入超過額が縮小する一方、「グローバル」が2カ月連続で流出超となりました。また、「欧州」が▲13億ドルでした。米長期金利は先進国の中では相対的に高金利であり、引き続き魅力的な投資対象となっていると思われます。
- 一方、新興国は「GEM」が▲21億ドル（前月+10億ドル）、「EMアジア」も▲17億ドル（同+8億ドル）と流出超に転じました。

**【主要地域別株式ファンドの資金フロー】**



**【主要地域別債券ファンドの資金フロー】**



(注1) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2018年4月末現在32.3兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。  
 (注2) データは2016年1月～2018年5月。週次ベース。2016年1月からの累計。  
 (注3) 「アジア」は日本、豪州、ニュージーランド、香港、シンガポール。  
 (注4) 「GEM」はGlobal Emerging Markets (世界の新興国市場全体に投資するファンドの総称)。  
 (注5) 「EMアジア (新興アジア)」は中国、インド、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ。  
 (出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここも  
チェック!**

**2018年5月30日 業績予想が上振れる米国株式市場**  
**2018年5月29日 米国経済と長期金利の見通し (2018年5月)**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。